

進路だより

中濃特別支援学校
進路支援部



令和5年度 第3号 3月4日

各部の進路に関わる取組の様子をお伝えします。

高等部は、『企業内作業学習（3日間×2回）』の様子、『障害者就業・生活センターについての講話』の様子、『卒業後の進路先』についてお知らせします。中学部は作業製品販売会（きらりんショップ）の様子、小学部は2年生の買い物学習の様子です。

これからも各家庭と連携し、一人一人のより良い進路実現に向けて精一杯取り組んでいきます。ご協力をお願いします。

○高等部1年1組『企業内作業学習』

1月30日～2月8日のうち6日間、企業内作業学習を実施しました。2年生になる前の早い段階で実際の職場により近い環境で実習を行うことで、生徒一人一人が自身の職業能力や職業適性について考えられるようにすることが目的です。6月と10月に実施した校内作業実習とは違った緊張や不安があったと思いますが、自分に合った職種を見付けたり、得意なことや苦手なことがより明らかとなったりと、充実した実習となりました。今回の実習での課題や反省と向き合い、2年生の就業体験に活かしていけるとよいです。



中央工機（株）での加工の様子



Vdrug関ひがし店での商品の陳列

○高等部2年1組『障害者就業・生活支援センターについての講話』



講話を真剣に聞く生徒たち

2年生では、卒業後を見据え就労に向けて力を付けるための取り組みを行っています。2月19日（月）には、ひまわりの丘障害者就労・生活支援センターの主任就業支援員さんに講話をいただきました。講話では、当該センターの行うサポート内容や、卒業した先輩達の経験からどのような人が会社に定着できるのかなどを具体的に教えて頂きました。生徒たちは、自分の普段の生活と比べながら聞き、それぞれが就職に向けて課題を見付けるきっかけとなりました。

○高等部3年生『卒業後の進路先』

3年生は、就労先決定に向けて実習と懇談を重ねてきました。基本的には、2年生の就業体験で3カ所、3年生の職場実習で2カ所の事業所において実習を行い、卒業後の進路先を決定していきます。3年生の卒業後の進路先内訳は次のとおりです。

<進路先内訳一覧>

就労形態	業種・サービス形態	生徒数
一般就労	製造業（部品組立、検品等）	3名
	小売り業（スーパー、ドラッグストア）	2名
福祉就労	就労継続支援A型事業所	3名
	就労継続支援B型事業所	10名
	生活介護事業所	6名
その他	岐阜県障がい者職業能力開発校	1名

○中学部 作業製品販売会（きらりんショップ）

1月17日（水）に『きらりんショップ』を開催しました。平日開催でしたが、たくさんの保護者の方にご来校いただきました。ありがとうございました。

販売の時には、生徒たちは、「いらっしゃいませ」「いかがですか」などと一生懸命に呼び掛ける姿や、購入していただけたことを喜ぶ姿などが見られました。自分たちも買い物をし、自分が作った製品や友達が作った製品の中から自分で選んで買うことができました。

「げんきいっぱいここにこ」のスローガンのとおり、中学部の生徒たちは準備から当日の販売会まで「笑顔いっぱい」で頑張りました。



（木工班）



（リサイクル班）



（陶芸班）



（工芸班）



（家庭班）

○小学部2年生 買い物学習

小学部2年生の校外学習では、マーゴ関店内のマクドナルドへ買い物に行きました。

事前学習では校内にマクドナルドの店舗に見立てた教室を作り、児童は店員役の教師とやり取りをして買い物の練習を行いました。

練習の成果が実り、校外学習当日には注文や商品の受け取りの際に、「おねがいします」「ありがとうございます」と伝えたり、お辞儀をしたりするなど、自分なりの方法で挨拶する姿が見られました。

児童たちにとって、「働く人」と直接関わることでできた貴重な機会となりました。

（事前学習）

「お金あつてるかな？」



（校外学習）

「じょうずに買ったね。」

